

## コンクリ診断士 技術情報を交換

福井で総会

県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は十六日、定期総会と研修会を福井市の県職員会館で開いた。

コンクリート製造業、建設業者、建設コンサルタント業に携わる会員二十一人が参加。他県の会や建設業団体との交流促進など本年度の事業計画を承認した。役員改選で

石川会長らを再選。副会長を一人増やし二人体制とし、新たにサンワコン設計事業部設計第二部長の中山伸一氏を選んだ。任期はいずれも二年。

研修会では飛島建設土木本部の笠井和弘課長が、コンクリート建造物の不具合事例や原因などについて講演。この後、参加者らは技術情報の意見交換を行った。

同会は、コンクリート診断士の社会的な地位向上を目指して二〇〇四年、

全国に先駆けて発足。現在会員は三十六人。昨年島根、東京でも設立され、本県から始まった診断士会が全国に広まりつつある。